

平成29年度から「陰山メソッド」を全市立小学校で導入し、学力向上を目指します！

延岡市教育委員会では、全国的に成果を上げている陰山英男氏の「百ます計算」や「音読」を含む指導方法「陰山メソッド」を、平成29年度から全市立小学校で導入します。そして、学びの土台となる「集中力」を高めさせ、子どもたちの学力向上を図っていきます。

1 陰山メソッドとは？

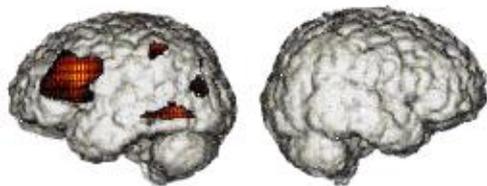
「陰山メソッド」とは、陰山英男氏が実践されてきた学力向上のための様々な指導方法のことです。百ます計算や音読などがありますが、いずれも「基礎的で簡単なことを徹底反復させる」という大変シンプルな指導方法です。

また、「早寝・早起き・朝ごはん」という生活習慣の土台をしっかりとさせることも、このメソッドに含まれます。



2 陰山メソッドのねらいとその効果は？

簡単なことを高速で徹底反復させたり、スピード感をもって音読させたりすることにより、脳が活性化します。脳を活性化させ、集中力を高めることが、このメソッドのねらいです。東北大学脳科学センター加齢医学研究所の川島隆太教授も、その効果を認めています。



複雑な計算問題を解いているときの脳



簡単な計算問題を速く解いているときの脳

血流量（赤い部分）が増大しています。

【川島隆太著「脳を育て、夢をかなえる（くもん出版）」より】

3 具体的な取組は？

延岡市教育委員会では、様々な陰山メソッドのうち、全国的に成果が認められている「百ます計算」「音読」に取り組みます。授業の始まる前の朝の時間に、これらに取り組み、集中力を高めるとともに、脳が活性化した状態で授業へつなげることで、学習効果を高めます。

また、漢字の学習についてはその学年で習得すべき漢字を5月までに学び終え、以後、徹底反復を図る陰山式「全漢字練習」に取り組みます。



【百ます計算】



【音読】